

令和元年12月19日

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

先端シーズフォーラム

「“熱” エネルギー再発見 ～墓場をゆりかごに変える先端技術～」
の開催について（ご案内）

関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）では、京都・奈良・大阪にまたがる、京阪奈丘陵に拠点を設け、文化・学術の振興などを通じてイノベーションを促進し、“新たな産業と都市の発展”につなげる取り組みを進めています。この一環として、社会の新たな方向性などを考える情報についても、積極的に発信しております。

今回は、エネルギー利用に際して、空間に放出される未利用な“熱”について、新たな利用への道筋を切り拓く研究・技術を探りあげます。こうした“熱”の利用が進めば、将来は“熱はエネルギーの墓場”と言われる状況から、新たなエネルギーの源となる“ゆりかご”になり、国連採択のSDGs「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」を実現する具体策となるかもしれません。

講師の神戸大学 鈴木教授からは、熱利用の需要と供給に関する“時間・温度・空間のギャップ”を解消する技術である「硬殻マイクロカプセル化蓄熱材」について、その特性を活かした潜熱蓄熱・化学蓄熱・潜熱輸送における利用を通じた次世代低炭素社会の実現についてご紹介いただきます。

また、奈良先端大の中村教授からは、IoTの進展に伴うデバイス電源として、身近な未利用エネルギーを電気に変換する“エナジーハーベスター”の実現に向け、その有用技術の一つである「有機系材料によるフレキシブル熱電変換素子」について、その新奇性の高い熱電材料と素子化に向けた研究状況をご紹介いただきます。

講演後は、参加者からの質問に答えることを通じて、講師と会場の相互理解を進め、今後の展望について、参加者のみなさまと考えて参ります。

本催事を通じて多くの方が示唆を得る機会となることを、当機構は期待しています。

<フォーラムの概要>

【日 時】 令和2年2月13日（木）13：30～16：30
（13：00開場・受付開始）

【場 所】 中之島センタービル29階 関西経済連合会 会議室
（大阪市北区中之島6-2-27）

【参加費】 無料 （但し、17:00～18:30の希望者による交流会は有料）

【募 集】 定員100名 令和2年2月7日（金）お申込み締切り
（お申込み先着順とさせていただきます。）

QRコード



<フォーラムのお申込みはこちらから>

<https://www.kri.or.jp/contact/sentanseedsforum0213.html>

【開 催】 主催： 公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
共催： 公益社団法人 関西経済連合会、
国立研究開発法人 科学技術振興機構
後援： 神戸大学学術・産業イノベーション創造本部、
奈良先端科学技術大学院大学、大阪イノベーションハブ、
関西広域連合、（公社）日本化学会 近畿支部

【主な内容】 別紙資料をご参照ください。

<本件に関するお問合せ先>

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 <https://www.kri.or.jp/>

新産業創出会員事業室（担当：樹下）

TEL：0774-98-2277

E-mail：t-kinoshita@kri.or.jp